

## 授業科目

## 医療情報学演習II

<b>担当教員名</b> 瀧口 徹、石上 和男、柴山 純一、寺島 和浩、井上 弘樹、本間 久文、 張 国珍、高橋 直樹、近藤 正紀、西村 宏子、野水 弘祐	<b>対象学年</b>	2	<b>対象学科</b>	医療情報
	<b>開講時期</b>	前期・後期	<b>必修・選択</b>	選択
	<b>単位数</b>	4	<b>時間数</b>	60

## 授業の概要

1年時の医療情報学特論IとIIおよび演習Iで得た知識と技術を駆使して特別研究を開始し中盤に達している時期であるので、院生相互、博士課程院生および指導教員の研究ミーティングの形式で実施する。院2年生は各自の特別研究テーマを中心に、進捗状況とデータ解析法および結果をプレゼンし、より効果的に個々の研究を進める方法について学習する。指導教員は院生の共通のテーマと解析法等で不足、不十分な領域について教育する。

## 授業の目的

各自の特別研究の妥当性、信頼性、新規性について院生、指導教員とのディスカッションを通してブラッシュアップする。

## 学習目標

1. 医療情報処理を支えるより高度な事項を学ぶ
2. データ収集、解析を行うことに必要な（より高度な）コンピュータ操作を習得する
3. より高度な統計処理法（ソフト操作法）を取得する
4. 医療現場で用いられるより高度な医療指標（クリティカル・パスを含む）についての理解を深める
5. より高度な医療情報処理法を学ぶ
6. 学術論文の書き方（英論文を含む）を学ぶ

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	※以下、教育、演習のテーマで不足がある場合に行うテーマ例を示す。	瀧口 徹 他
2	論文の書き方演習	総合演習について早期に開始する	瀧口 徹 他
3	情報工学、オンライン情報処理 演習 その1	ウイルス対策を中心として（ウイルス感染の症状、診断、対応）	寺島 和浩 他
4	情報工学、オンライン情報処理 演習 その2	ウイルス対策を中心として	寺島 和浩 他
5	情報工学、オンライン情報処理 演習 その3	ウイルス対策、クラウド利用、オンライン処理、画像処理等	近藤 正紀 他
6	情報工学、オンライン情報処理 演習 その4	ウイルス対策、クラウド利用、オンライン処理、画像処理等	近藤 正紀 他
7	特殊な統計 その1	主成分分析、因子分析	瀧口 徹 他
8	特殊な統計 その2	主成分分析、因子分析	瀧口 徹 他
9	プログラミング演習 その1	エクセルマクロ、ビジュアルベーシック、J A V A等	張 国珍 他
10	プログラミング演習 その1	エクセルマクロ、ビジュアルベーシック、J A V A等	張 国珍 他
11	特殊な統計 その3 心理分析法 その1		高橋 直樹 他
12	特殊な統計 その4 心理分析法 その2		高橋 直樹 他
13	特殊な統計 その5	地域集積性（regional clustering）	瀧口 徹 他
14	特殊な統計 その6	地域集積性（regional clustering）	瀧口 徹 他
15	特殊な統計 その7	地域集積性（regional clustering）	瀧口 徹 他
16	特殊な統計 その8	地域集積性（regional clustering）	瀧口 徹 他
17	特殊な統計 その9	data mining 質的分析（KH Coder）	瀧口 徹 他
18	特殊な統計 その10	data mining 質的分析（KH Coder）	瀧口 徹 他
19	特殊な統計 その11	ベイズ統計学の保健・医療への応用	井上 弘樹 他
20	特殊な統計 その12	ベイズ統計学の保健・医療への応用	井上 弘樹

			他
21	特殊な統計 その1 3	医療経済統計 外来講師	
22	特殊な統計 その1 4	医療経済統計 外来講師	
23-28	総合演習 英語による統計プレゼンテーション & 質疑演習	和文ポスター作成 (A4)→英文ポスターへ変換	瀧口 徹 他
29-30	総合演習 英語による統計プレゼンテーション & 質疑演習	発表会 日本語で発表 その語英語で発表 各自30分	瀧口 徹 他

### 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	専攻長が編纂した疫学&統計サイト <a href="https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing">https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing</a>					

### 評価方法

複数回レポートを提出する方法または口答諮問で評価

### 履修上の留意点

- 1) 参考書は特論Iと同じ  
特に専攻長が編纂した下記サイトの利用を勧める  
<https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing>
- 2) 特論Iと比較して相当高度になる部分があるため復習を重視すること
- 3) 各自の修士論文作成に関連の強い項目についてより深い理解を心掛けること
- 4) 特別研究の妥当性、信頼性、新規性のブラッシュアップの場という意識を強く持つこと（※揉まれなければ稚拙で独善的な研究になってしまう）

### オフィスアワー・連絡先

瀧口徹 : IA511 takiguchi@nuhw.ac.jp TEL 025-257-4535 水曜日を除く WEEK DAY AM9:30-PM7:00